

令和5年度 第1回手上げ型交付金事業 審査結果

No.	新規 継続	組織名	事業概要	交付決定額
		事業名		
1	継続	野村地域自治振興協議会	野村地域で培われた170年の相撲の歴史や文化を記録として残し、「日本一の相撲のまち」を多くの方に発信することで、地域産業の振興と乙亥大相撲のさらなる発展を目的に行う。今年度は乙亥大相撲の歴史編さん調査を引き続き行い、相撲関連プログラムの構築と推進、相撲イベントの開催を行う。	1,140千円
		温故知新～乙亥大相撲の歴史と伝統を生かしたまちづくり～		
2	継続	かりとりもさくの会	100年後も狩江地区が存在することすることを目的に3つの事業に取り組む。「若者移住者と農業従事者の獲得」「関係人口拡大」「③ SDGs学習のフィールド作り」	1,479千円
		ワカモノの子カラ		
3	新規	大崎振興会	地域特有の課題として、自分が料理を作れなくなったら手料理が食べられない。そして、独居になれば自然と孤食になる。それらの課題は、地域に食堂がないことが大きな原因の一つになっています。その課題を緩和すべく、本年度立ち上げた『たのきっちゃん(地域交流食堂)』を継続していくため、まずは調理場の環境を整備する。またその調理場を活用して、世代間交流の場としての郷土料理教室や地域交流食堂を定期開催する。	312千円
		たのきっちゃん		
4	新規	俵津スマイルーいいまちづくり隊ー	2017年に完成した国道バイパス。しかし、その背後地は整備されておらず利活用されないままにある。そのスペースを活用して、地域住民が集える拠点となる井戸端会議の場所を整備する。	1,505千円
		地域で集いの場を作る！未来への行Hi立地案(埋立後背地の活用)		
5	新規	高川地域づくり会	姉妹市町交流30周年記念の交流会を実施することで、交流人口増加による経済効果や地域の魅力づくりを発信すると共に、フットパスを中心とした案内人、ジオガイドの後継者育成を行い、継続した地域づくりを実施する。「フットパス交流事業」「道の駅交流事業」「奥伊予レストランの実施」	1,405千円
		姉妹市町交流30周年記念フットパス交流		
6	継続	周木ビリ島むらおこし会	大学生という地域外の人と交流することで、周木地区を違った角度で見つめ直し、今後の地区の活性化の糸口を探る。大学生との地域内フィールドワークや「いかだ集会」のブラッシュアップ、地区の小・中・高校生との交流など、地域住民との交流を深めるとともに、地域課題と旧周木小学校の活用等について研究し、一緒に考えていく。	1,157千円
		大学生と協働の周木活性化事業		
7	新規	田之筋地区地域づくり協議会	地域で唯一の購買店舗であったJA旧田之筋支所を地域の拠点施設として整備することで、今年度トライアル的に実践した田之筋マルシェやボルダリング事業など定着させ、この場所を地域や世代の枠を超えた人々が集い、田之筋のアイコンとなる共生が交流拠点「コミュニティプレイス」とする。	1,839千円
		JA旧田之筋支所跡地の利活用		
8	継続	中筋地区自治振興会	中筋地区への移住希望者のための「中筋村」の魅力発見。“共につくる”をキーワードに、ツリーハウス建築及び移住定住等空き家活用など、つくる過程から関わってもらうことで、関係人口を創出する。	2,000千円
		達`間 館プロジェクト		
9	継続	横林自治振興協議会	事業最終年度として、より共感を生む交流の在り方を模索するとともに、応援隊の取り組みをより充実させる。また、地域づくり活動センター化元年として、地域全体の課題である地域福祉・地域交通への取り組みを展開する中で、住民一丸となって地域の将来を切り開く。	2,000千円
		『招くネコの手プロジェクト』～SEASON3～		
10	継続	下宇和地域づくり協議会	3世代に渡って地域の幅広い方が参加できる魅力ある夜市を開催することで、今まで関心なかった方たちにも関心をもってもらい、地域への参画の導入的イベントとする。従来の地域の盆踊り大会を活かして、浴衣の貸出や盆踊り練習、花火などを取り入れて、3世代が交流する機会を作ることで、地域全体の一体感を生み出す盛大なイベントとしての定着と地域独立運用を目指す。	513千円
		3世代の地域交流 昭和ノスタルジックな夜市		
11	継続	高山・宮野浦地域づくり協議会	別事業として実施した令和2年度、3年度に実施した高山地区景観調査事業において明らかになった価値を、次世代に繋ぐと共に今後の地域づくり活動の指針とするため保存活用計画を策定し、広く住民へ周知し、計画の内容について理解を深める。	516千円
		宇和海高山の石灰産業と町並み景観保存活用計画策定事業		
12	新規	遊子川活性化プロジェクトチーム	ゲストハウスを整備し、地区外から一時的な訪問による交流から、ゆっくりと時間をとって地域に滞在していただくことで、交流機会の充実を図り、さらに深い関係性の構築をすることを目的とし、将来的には移住定住につながる取り組みを実践する。	2,000千円
		山暮らし入門塾～遊子川つながり拡大プロジェクト～		
13	継続	蔵小校区ふるさと振興会	地域住民が、楽しみながら蔵小校区の地場産品の活用を模索し、地域特産品と着地型の体験と組み合わせることで地域の独自性を生み出す。また、自然環境の整備を進め、地域活動との連携を図ることで、多様な地域資源を活用した取組を実践する。①逸品産業祭の開催②地域特産品づくり③豊かな環境資源の活用と情報戦略④体験拠点整備など	1,330千円
		奥地の冬の逸品産業祭vol.3		
14	継続	大和田地区むらおこし会	地域の「つながり」と地域への「親しみ」を育むため、地域人材や資源を活用した各種体験講座事業や情報発信、にぎわい創出に寄与する事業を展開するとともに、地域の魅力や課題を発掘するワークショップを開催する。①体験講座事業②大和田魅力発掘プロジェクト	570千円
		大和田っこの種を撒こう		
				17,766千円